

## 平成 27 年度事業計画

### 【事業方針】

当協会は、定款において「廃棄物の発生抑制・再生利用・適正処理に関わる法制度及び技術等に関する研鑽並びに廃棄物処理施設の維持管理技術に関する調査・研究・開発を行うことにより、会員の資質向上及び社会的地位の向上を図り、廃棄物処理施設の安全で安定的かつ効率的な施設管理に貢献し、もって生活環境と資源の保全に寄与することを目的とする。」を掲げ活動している。

昨年度は一般社団法人として、積極的に環境省に対する要望行動等を行うとともに、「環境技術会誌」の発行、技術セミナーの開催、廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）を実施することにより、技術管理者等の資質及び社会的地位の向上を進めるように配慮した。

本年度は会員等へのサービス強化のために、重点事業として、以下のような事業や表彰制度の拡充を図ることとする。

### 【重点事業】

#### ① 会員の増強

- ・技術管理者講習会において、当協会案内パンフレット、「環境技術会誌」等を置くなど、会員の増強を促進する。
- ・技術管理者講習修了者に対して、廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度（以下、技術管理者 CPDS という。）への申込書を配布するなど、技術管理者 CPDS とリンクした会員増強策を実施する。
- ・会員のメリット向上のため、協会ホームページ「会員のページ」に調査報告書、研修会資料、メールマガジン等のバックナンバーを掲載する。
- ・廃棄物処理関連団体に対し、賛助会員または団体会員入会の勧誘を行う。

#### ② 技術管理者 CPDS の実施

- ・技術管理者講習修了者に対して、技術管理者 CPDS 案内パンフレットを配布し、参加者の増強に努める。
- ・技術管理者に相応しい称号を付与するために、その基準を明確化する。

#### ③ 調査・研究の実施等

「長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査」を実施し、施設の適切なモニタリングなど、今後の施設運営管理と技術管理者の在り方を検討する。

## 【事業計画】

### 1. 普及啓発事業

#### 1) 広報・出版活動

##### (1) 「環境技術会誌」季刊発行（1月、4月、7月、10月）

本誌は、紙面の充実を図るとともに会員へのサービス向上を目的として、季刊の年4回に加え、必要に応じ増刊号1回の年5回の発行とする。

また、本誌の論文としての価値を高め、会員の資質向上のために査読付きの投稿論文を募集する。

このように、本誌を通じて会員からの情報提供を得ながら、会員の資質向上と会員相互の情報交換の場となるように努める。

第159号（平成27年 4月）

第160号（平成27年 7月）

第161号（平成27年10月）

第162号（平成28年 1月）

（主な記事）

- ・廃棄物処理・維持管理技術に関する特集記事、報文
- ・専門委員会報告
- ・環境省等行政資料
- ・国内・海外の廃棄物関連情報

##### (2) ホームページの運営

廃棄物情報の提供、会員との情報交流並びに当会の情報公開の場として運営を行う。

現在会員のページには廃棄物処理法入門コーナー、地区協議会活動助成申請書及び収支報告書が掲載されているが、調査報告書、セミナー等の資料、メールマガジン等のバックナンバーを掲載して会員サービスに努める。

##### (3) メールマガジンの配信

会員へのスピーディな情報発信のため、会員の希望者には毎月メールマガジンを配信する。

#### 2) 研修会・講習会の実施

##### (1) 第36回廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会（技術管理者 CPDS 認定）

本集会は本協会会員はじめ廃棄物処理に関連する方々を対象として、最近の行政動向、最新の技術や話題の紹介を通じ、技術管理者としての資質向上を目的として開催する。

開催日：平成27年6月19日（金）、10時～16時

会 場：連合会館

テーマ：①廃棄物処理行政の動向

環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部

②その他、最近の話題を中心とした企画4テーマ程度の講演を実施

## (2) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習認定制度の実施

廃棄物処理施設を適正に維持・管理するには、常に最新の維持管理技術や管理手法等を習得し、技能の向上が技術管理者にとって重要である。

そこで、一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会の事業として、継続学習制度（以下「CPDS」Continuing Professional Development System の略）を実施する。

この制度は、廃棄物処理施設の技術者が種々の講習会、研修会、講演会、シンポジウムなどの受講や活動成果の発表をした場合に、それらの学習記録を残し、必要により学習履歴を証明するシステムである。本年度は登録者に対する称号付与の条件を明らかにする。

このような継続教育制度の実施によって、廃棄物処理施設の維持管理に関する知識レベルの維持・向上及び当該分野の最新知識の習得に努め、社会的使命を果たすことが可能となる。

## (3) 技術管理者 CPDS 認定「廃棄物処理施設技術管理セミナー」

当協会では、会員並びに技術管理者など廃棄物処理施設の維持管理に従事する方々のスキルアップのため、セミナーを開催する。

平成 27 年 10 月～平成 28 年 2 月末、東京・名古屋

## (4) 廃棄物処理施設技術管理者等スキルアップ研修会（技術管理者 CPDS 認定）

廃棄物処理技術に関する最新情報を提供するとともに、廃棄物処理の現場で抱える様々な課題について講師と参加者が相互に事例紹介や情報交換を行う場として（一財）日本環境衛生センターと共催して実施する。

開催日：平成 26 年 9 月～12 月

会場：福岡県

## 3) 第 10 回廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会（技術管理者 CPDS 認定）

技術管理者の情報交換を行うため、以下の研究発表会等を開催する。

会期：生活と環境全国大会（平成 27 年 10 月 20 日（火）～10 月 22 日（木））

事例研究発表会（平成 27 年 10 月 22 日）

会場：京都市（京都テルサ）

内容：廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会

## 4) 各種表彰

### (1) 環境大臣表彰の推薦（新規）

環境大臣表彰の中央推薦の基準を明確にした上で、当協会会員を推薦する。

### (2) 第 59 回生活と環境全国大会（平成 27 年度）大会長感謝状受領者の推薦 大会長感謝状の中央推薦団体として 2 名を推薦する。

贈呈式：第 59 回大会席上

### (3) 会長感謝状の贈呈制度

永年に亘り、会の発展に尽力した会員に対して会長感謝状を贈呈する。

贈呈式：平成 27 年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上

贈呈者：運営部にて選考

#### (4) 年間論文賞の表彰制度

会員からの環境技術会誌、支部会誌の投稿を対象とした優秀論文を表彰する。  
この賞は年間論文賞審査委員会において選考し、運営部会で決定する。

委員：横田 勇、淡路宣男、河辺安男、二見壽之、三橋孝太郎

授賞式：（平成27年度廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会席上）

#### 5) 地区協議会活動への支援

##### (1) 設立の支援

- ・地区協議会設立契機提供事業（出前事業）
- ・地区協議会設立の促進

##### (2) 活動への支援（行事・講師派遣等）

### 2. 調査・研究事業

#### (1) 調査・研究事業

##### 1) 長期包括運営委託業務・PFI 事業に関する維持管理実態調査(継続)

廃棄物処理施設の長期包括委託維持管理業務及び PFI 事業について、アンケート調査結果を解析し、今後の施設運営管理の在り方を検討する。

### 3. 技術支援事業（継続）

廃棄物処理事業者の方々に対して、本会の長年にわたる活動実績を活かし、廃棄物処理施設の計画・建設及び運営に関する技術支援業務を実施する。

### 4. 事業推進のための会議等

#### 1) 第6回定時社員総会の開催

開催日：平成27年6月18日（木）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度28年度役員選任の件  
②名誉会員の選出の件  
③平成26年度事業報告の件  
④平成26年度収支決算の件  
⑤平成27年度事業計画の件  
⑥平成27年度事業予算の件  
⑦国等への要望事項の件

#### 2) 理事会の開催

##### (1) 第18回理事会

開催日：平成27年5月28日（木）、14時～16時

会場：連合会館

議事等：①平成27年度28年度代議員選挙結果及び役員候補者の選出  
②平成26年度事業報告の件  
③平成26年度収支決算の件  
④国等への要望事項（案）の件  
⑤ホームアドレス変更の件

(2) 第19回理事会

開催日：平成27年6月18日（木）、16時～17時

会場：連合会館

議事等：①代表理事の選定

②平成27年・28年度副会長、業務執行理事（専務理事）の選定及び名誉  
会長・顧問選任の件

(3) 第20回理事会

開催日：平成28年3月中旬～下旬

会場：連合会館（予定）

議事等：①平成28年度事業計画の件

②平成28年度事業予算の件

3) 部会等の開催

(1) 運営部会 年4回程度開催

議題：①組織の運営・管理に関する事項

- ・事業計画、予算及び決算に関すること
- ・会員の増強に関すること
- ・地区技術管理者協議会の設置、育成、強化に関すること
- ②会則、細則、制度、内規及びその他の規定に関すること
- ③研修会、講習会等の企画及び実施に関すること
- ④会員の表彰等の選考調整に関すること
- ⑤その他本会の目的達成のために必要な事業に関すること

(2) 編集委員会 年1回開催

議題：①環境技術会誌の企画、編集に関すること

②刊行物に係る業務に関すること

(3) 廃棄物処理施設技術管理者継続学習制度運営委員会

議題：①継続教育システムの検討

②教育内容の検討

③評価制度の検討

(4) 技術管理者 CPDS 認定講習企画委員会

議題：①CPDS 認定資格付与等の検討

(5) 長期包括委託による維持管理実態調査委員会

議題：①調査結果の検討・報告書のとりまとめ

5. その他の事業

(1) 「廃棄物処理施設技術管理士」証明看板の発行

## 6. 関係団体への協力等

国をはじめ関係団体等が行う各種の活動・行事等の啓発活動等に対して協力を行う。

①廃棄物団体連合会、廃棄物資源循環学会

②第59回生活と環境全国大会（平成27年度）の協賛、その他関係団体の行事等の協力

## 7. 組織運営

### 1) 財政の健全化

#### (1) 入会促進

(一財)日本環境衛生センターの技術管理者講習修了者に対して、個人会員、団体会員及び賛助会員の入会を促進する。また、廃棄物処理に関係する団体等に対しては、賛助会員の入会を促進する。

#### (2) 新規事業の推進

継続学習制度、廃棄物セミナー及び廃棄物処理に関する技術支援業務等の推進を行う。

### 2) 国等への要望行動等

技術管理者に関連する事項について、積極的に要望行動を行う。

### 3) 代議員、役員を選出

平成27年度・28年度の代議員、理事・監事を選出する。

### 4) ホームページ (HP) の刷新

会員等サービスの充実を図るため、HPの容量を増大し、トップページを見やすく刷新する。また、メールアドレス及びURLを以下のような公的名称に改める。

現行のURL : <http://homepage3.nifty.com/kyougikai>

新しいURL : <http://jaem.or.jp>